

⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭61-159208

⑫ Int. Cl.

B 60 G 17/06
11/56
F 16 F 9/46

識別記号

庁内整理番号
8009-3D
8009-3D
7369-3J

⑬ 公開 昭和61年(1986)10月2日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 車高調整装置

⑮ 実願 昭60-44549

⑯ 出願 昭60(1985)3月27日

⑰ 考案者 近藤 祐輔 岡崎市橋目町字中新切1番地 三菱自動車工業株式会社乗用車技術センター内

⑱ 考案者 小林 誠 岡崎市橋目町字中新切1番地 三菱自動車工業株式会社乗用車技術センター内

⑲ 考案者 大橋 重利 岡崎市橋目町字中新切1番地 三菱自動車工業株式会社乗用車技術センター内

⑳ 出願人 三菱自動車工業株式会社 東京都港区芝5丁目33番8号

㉑ 代理人 弁理士 鈴江 武彦 外2名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

ストラットの周囲にコイル状のサスペンションばねが略同軸的に配置されたストラット式サスペンション装置本体の上部ばね受け部の上方にこの上部ばね受け部の設置位置を上下方向に移動操作する駆動部を配設するとともに、この駆動部を前記ストラットのストラットロッドが貫装され車体側に弾性材を介して固定されたシリングと前記ストラットロッドに沿つて上下方向にスライド動作するピストンとによって形成し、かつ前記ストラットのストラットロッドの内部に前記ピストンの作動油の流通路を形成したことを特徴とする車高調整装置。

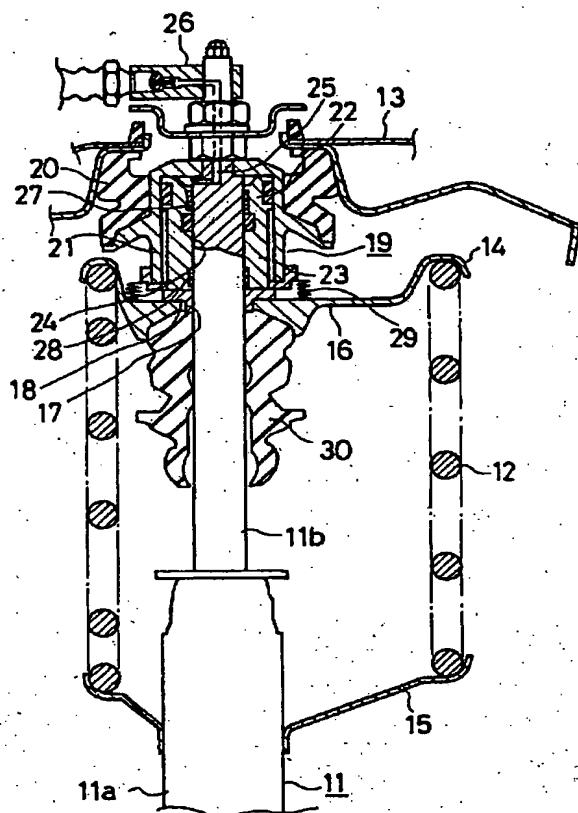
図面の簡単な説明

第1図および第2図はこの考案の一実施例を示す

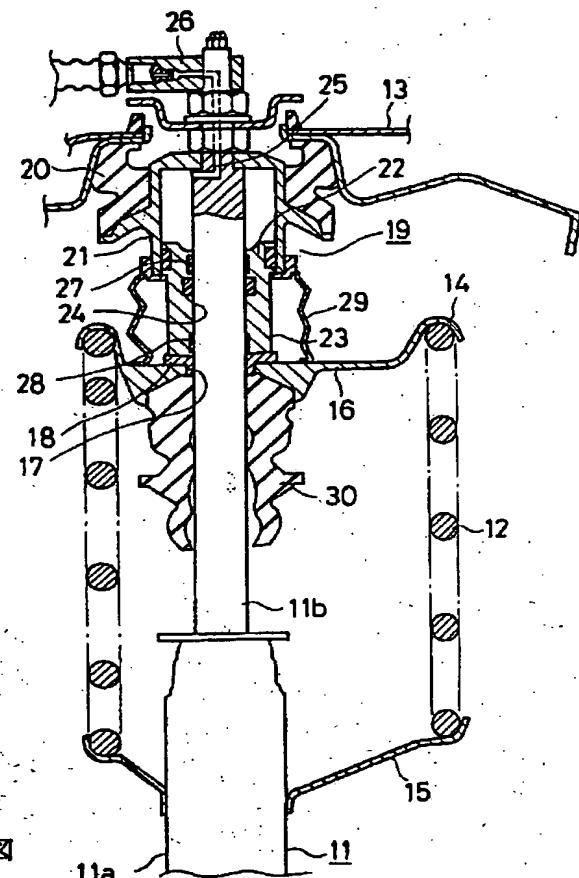
すもので、第1図は油圧ジャッキのピストンが車高ダウン位置に保持されている状態を示す縦断面図、第2図は油圧ジャッキのピストンが車高アップ位置に保持されている状態を示す縦断面図、第3図はストラット式サスペンションのサスペンション装置本体の概略構成を示す斜視図である。

1 1 ……ストラット、1 1 a ……シリング、1 1 b ……ピストンロッド(ストラットロッド)、1 2 ……サスペンションばね、1 3 ……車体、1 4 ……上部ばね受け部、1 9 ……油圧ジャッキ(駆動部)、2 0 ……インシュレータ(弾性材)、2 1 ……シリング、2 2 ……ピストン、2 5 ……流通孔(流通路)。

第1図



第2図



第3図

